

令和5年度 防衛大学校卒業式  
来賓代表（山川 宏様）祝辞

ご卒業おめでとうございます。僭越ながら、来賓を代表して、祝辞を述べさせていただきます。

この壇上から見て、卒業される皆様が非常に眩しく見えます。皆様は、新しい人生のスタートを迎えられ今後、日本、そして日本国民を守っていかれます。私は、一国民として、日本に皆様のような若者がいることを誇りに思います。そして教職員の皆様、ご家族の方々、これまでのご献身に、深く敬意を表します。私は小中高と茅ヶ崎市民だったのですが、元神奈川県民としても、ここ横須賀市に防衛大学校があることを誇りに思います。

私は、18年間、相模原市にありますJAXAの前身組織である宇宙科学研究所で、ロケットや衛星に関する研究開発を行うと共に、実際のロケット打ち上げや衛星運用に数多く携わりました。例えば、世界で初めて小惑星の表面物質を地球に持ち帰った小惑星探査機「はやぶさ」もその1つでした。その過程で学んだことが2つあります。1つ目は「研究開発上の困難は、情熱を持って、徹底的に考え抜いた個々人から、突破口が見いだされる」ことです。そして、2つ目は「困難を克服して、実際にロケットや衛星のミッションを完遂することは、共通の熱い思いを持った大勢の仲間無しには実現しない」ということでもあります。

その後、私は、ロケットや衛星の現場を離れ、京都大学において12年間、教授として、宇宙工学の講義や学生の研究指導をしました。学生と向き合う日々を通して、教えることの難しさ、そして、学生が無事に卒業してくれたときの教員としての喜びを味わうことができました。本日も、防衛大学校の教職員の皆様が、いかにほっとし、どれほどお慶びになっているかを想像することができます。

この大学教授時代の12年間に、京都においては、地元の人として、多くの自衛隊駐屯地や基地を訪れ、宇宙と安全保障に関する講演をし、多くの自衛官と意見交換をしました。また、同時に、東京では、内閣官房の宇宙開発戦略本部事務局長、その後は、内閣府の宇宙政策委員会委員を併任していました。そのため、東京においても、非常に多くの政府関係者、自衛隊の方々と、宇宙安全保障の重要性について意見交換をしました。

そして、今から6年前にJAXA理事長に就任して、現場に復帰致しました。平成30年のJAXAの中長期計画には「宇宙安全保障の確保に重点的に取り組む」とあります。また、令和4年の国家安全保障戦略には「JAXA等と自衛隊の連携強化」と書かれております。文書にかかっているだけでなく、この6年間、防衛省、自衛隊、防衛装備庁を含め、実際に非常に強固な連携を進めているところでもあります。その過程で思うのはやはり、お互いの顔が見えていることが真の連携に繋がっていくということでもあります。京都大学時代を通じて培った自衛隊、防衛省とのつながりが本当に貴重だったと考えています。

少し、最近のJAXAの話題にも目を向けたいと思います。1月20日に、皆様をひやひやさせたかもしれませんが、小型月着陸実証機「SLIM」が、画像照合を利用したピンポイント月面着陸を、世界で初めて実現しました。小型ロボットが撮った月面上のSLIMの写真も印象的でした。また、2月17日には、皆様の応援のおかげで、H3ロケット試験機2号機の打ち上げが成功しました。我が国の宇宙活動の自立性の確保、そして、我が国のロケットの国際競争力確保に向けて大きな一歩だったと考えております。いずれのプロジェクトも、10年以上にわたり、あふれる情熱と強い意志をもって引っ張るプロジェクトマネージャーとその情熱を共有する強固なチームに支えられています。そのプロジェクトマネージャーが発した言葉は「困難はエンジニアを強くする」でした。奇しくも、小惑星探査機「はやぶさ」が探査した小惑星にその名前が冠されており、日本の宇宙開発の父である糸川英夫博士が半世紀以上前に発した言葉「人生で最も大切なものは逆境と佳き友である」と同じ内容でした。

さて、改めて、壇上から見ますと、卒業を迎えて、きりっとした、誇らしい表情が講堂に溢れております。私が防大に伺ったのは、10年前の開校記念祭、そして5年前の本講堂における講話に続き、3回目となります。好きじゃないと3回も来ません。私は、昔から防大、そして防大卒業生の応援団の一人なのです。そして、今日お話ししたことを、敢えて応援団の一人としての皆様へのメッセージとしてまとめるならば「情熱を持って仕事に徹底的に取り組むこと」そして「大勢の仲間とその情熱を共有すること」になるかと思えます。何年か、あるいは、何十年か経って「そう言えば、卒業式の時に、来賓の人が何か言っていたな」と何かの事態に対処する際に、考えるきっかけになれば幸いです。近い将来、皆様と一緒に働く日々を楽しみにしております。改めまして、本日はおめでとうございます。

令和6年3月23日  
宇宙航空研究開発機構（JAXA）  
理事長 山川 宏